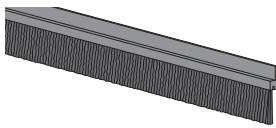


施工説明書 オーバーシャット

オーバーシャット



このたびは、オーバーシャットをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に取り付けてください。
特に「安全上のご注意」は、取り付け前に必ずお読みください。
- 施工説明書に記載されていない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
- 負荷検知装置が取り付けられている場合は、負荷検知の感度調整を行ってください。
- 梱包材や残材は、法律に従って適切に処理してください。
- オーバーヘッドドア専用のためスチールシャッター、シートシャッターへの取り付けはできません。

安全上のご注意 必ずお守りください

■誤った施工をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。



してはいけない内容です。

注意

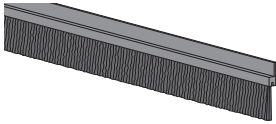


禁止

- 黄色は屋外で使用しない
- シャッターのすき間対策として使用しない

- 使用耐熱温度外になる場所で使用しない
- 引っかかりやすい場所へは取り付けない

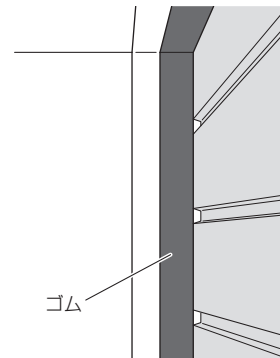
部品・部材

部品・部材名	上部／サイド部／下部
	オーバーシャット
姿図	 毛丈：60mm 長さ：1m/5m/25m

※取付用ねじは付属していません。
推奨ねじ：ドリルねじ（ステンレス）ナベM4～5×L13

施工前の準備

- 既存で設置してあるゴムなどを綺麗に外す。

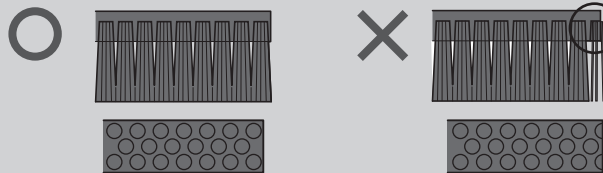


- 箱からブラシを出し、なるべく直線になるようにほぐす。

取り付け手順

重要！ ブラシのカットについて

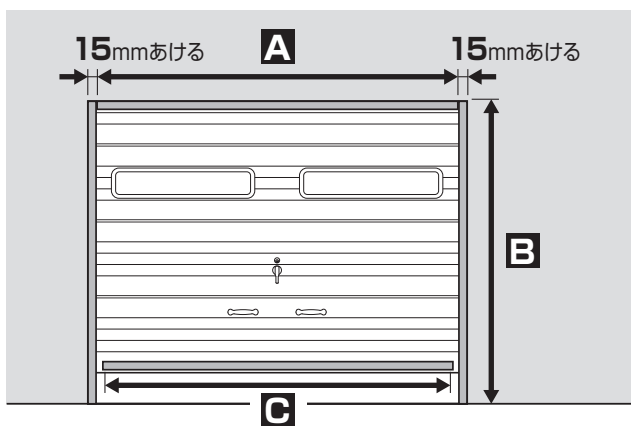
すき間を減らすために下記の様にブラシをカットしてください。



切断部分について
ブラシは取り除く

1 部材のカット

部材寸法を確認してカットする



A 上部

サイド部のブラシとの干渉を防ぐため、オーバーヘッドドア開口幅から左右**15mm**ずつ、合計**30mm**短い寸法にカットする。
(※上部のみを取り付ける場合は、オーバーヘッドドア開口幅に合わせてカットする。)

B サイド部

オーバーヘッドドア開口部の高さに合わせてカットする。

C 下部

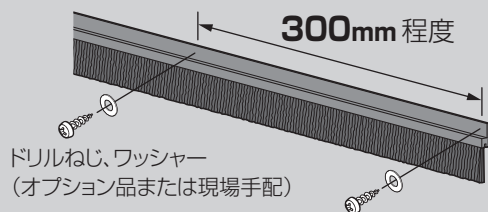
4 下部用部材の取り付け の項目を確認してください。

(※下部のみを取り付ける場合は、オーバーヘッドドア開口幅に合わせてカットする。)

2 上部への取り付け

重要！ ねじ固定位置について

ブラシの取付にはねじとワッシャーを用意してください。
※ねじは**300mm**ピッチで固定してください。

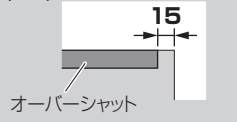


ドリルねじ、ワッシャー
(オプション品または現場手配)

2 ブラシを上部にねじ固定する

重要！

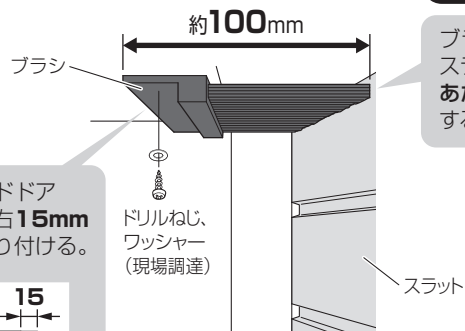
オーバーヘッドドア
開口幅より左右**15mm**
ずつ内側に取り付ける。
(※1)



オーバーシャット

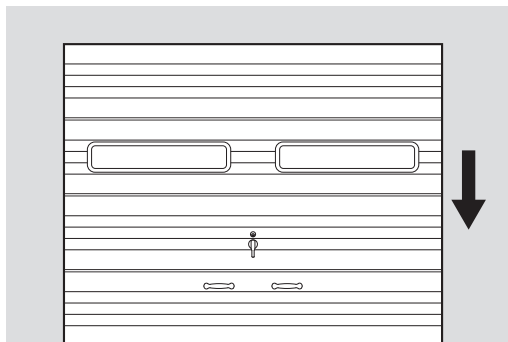
重要！

ブラシの先端が
スラットに**軽く**
あたる位置で固定
する(約100mm)



※1:上部のみを取り付ける場合は、オーバーヘッドドア開口幅に合わせてカットする。

1 オーバーヘッドドアを閉める

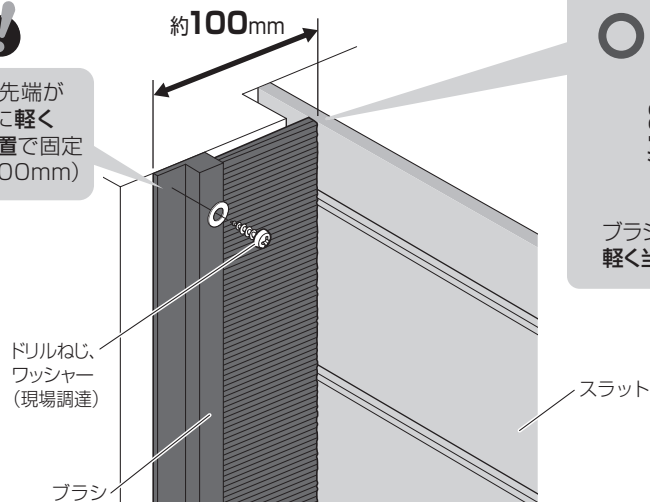


3 サイド部への取り付け ※取り付けはオーバーヘッドドアを閉めた状態で行ってください。

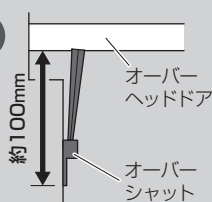
ブラシをサイド部にねじ固定する

重要!

ブラシの先端が
スラットに軽く
あたる位置で固定
する(約100mm)



重要!



ブラシの先端がスラットに
軽く当たる

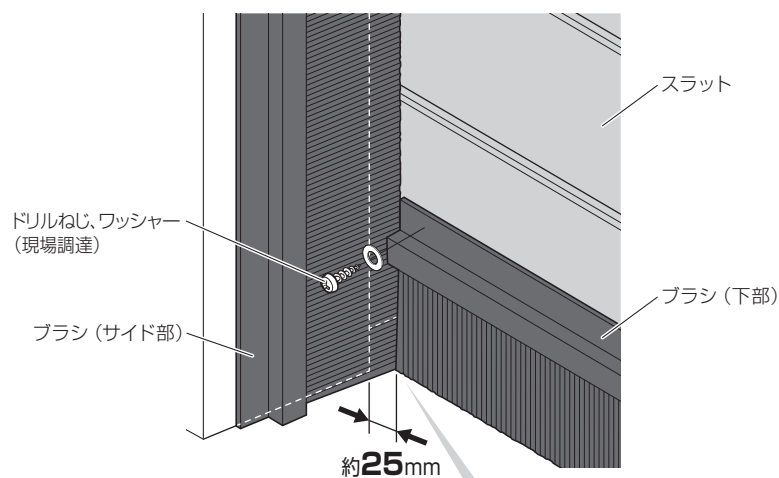


ブラシの先端がスラットに
押し当たりすぎている

4 下部への取り付け

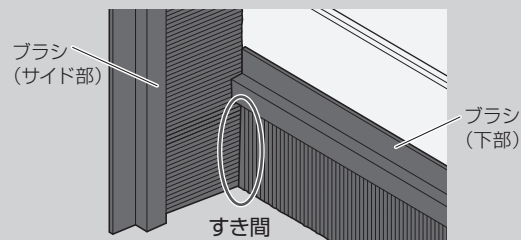
ブラシを下部にねじ固定する

※下部にブラシを取り付けるとオーバーヘッドドアメーカー様のステッカーが見えなくなる場合があります。



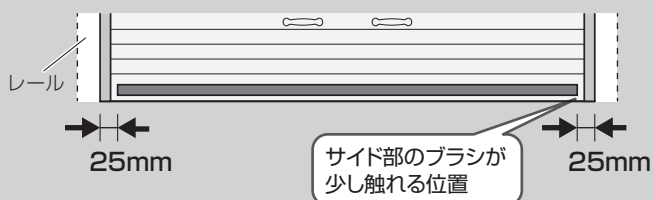
重要!

下部とサイド部のブラシの間にすき間が生じる場合は、
該当個所の裏側にブラシの端材などで適切な処置を
施してください。



重要!

レールから約25mm離れた位置にブラシを取り付けてください。



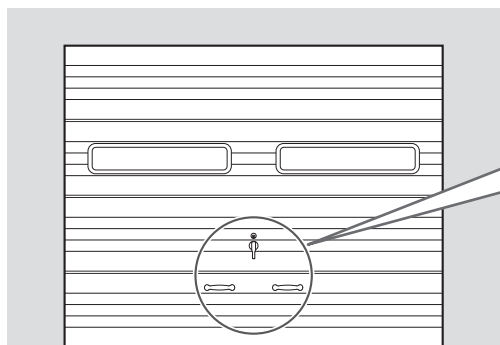
取り付け完了

取り付け後の確認に進んでください。

取り付け後の確認

- オーバーヘッドドアの鍵が閉まることを確認してください。
- オーバーヘッドドアが問題なく開閉できることを確認してください。
- オーバーヘッドドアの種類によっては、ブラシのボディに鍵や取っ手部分が当たって開閉に支障が生じる可能性があります。
該当部分のブラシを部分的に取り外してください。

〈例〉



各部品に当たるブラシを部分的に取り外す

